

係りと結びは一组

学び方と確認例

この単元の範囲

古文で、文中の係助詞に応じて、対応する述語の活用形が決まる関係を係り結びといいます。ここでは、結びが文末にある短い文を扱います。

覚える二つの対応

ぞ・なむ・や・か → 結びは連体形

こそ → 結びは已然形（いぜんけい）

ぞ・なむ・こそは強調を表します。や・かは疑問や反語を表すことがあります。この教材のや・かは、本当に尋ねる疑問だけを出题します。

例でたどる

教材用作例「池にぞ魚ある。」

係りは「ぞ」、結びは「ある」。終止形「あり」が連体形「ある」になります。

教材用作例「この山こそ高けれ。」

「こそ」に合わせ、「高し」を已然形「高けれ」にします。

進め方

A～Cは各8問の練習、Dは8問100点の確認テストです。資料表はどのセットでも使えます。高校で扱う活用体系全体の暗記や、例外的な結びの省略・消失は出题しません。

形の表を読む

学び方と確認例

必要な形だけを確認

次の表は、この単元の問題で使う形だけを集めた資料です。六つの活用形をすべて暗記する必要はありません。

語	終止形	連体形	已然形
あり	あり	ある	あれ
高し	高し	高き	高けれ
寒し	寒し	寒き	寒けれ
咲く	咲く	咲く	咲け
降る	降る	降る	降れ
けり	けり	ける	けれ

同じ文字でも活用形は異なる

「咲く」は終止形も連体形も「咲く」です。教材用作例「花ぞ咲く。」の文末は、「ぞ」に対応する連体形です。係り結びがあっても、終止形と比べた文字の形が必ず変わるわけではありません。

連体形で文を終えられる

連体形は名詞を修飾するときにも使いますが、係り結びでは文末にも現れます。「連体形なのに後ろに名詞がないから誤り」とは言えません。

けりも文末に注目する

教材用作例「昔、ここに人ぞ住みける。」では、連体形になっているのは文末の「ける」です。「住み」はその前にあります。「けり／ける／けれ」は資料表で確かめましょう。

一字で決めず文で確かめる

学び方と確認例

係助詞を探す

「いづれ」は「どれ」という疑問語です。教材用作例「いづれの山か高き。」で係り結びを生じさせるのは「か」です。また、「かぜ」の最初の「か」は語の一部で、係助詞ではありません。

会話は中で対応させる

教材用作例「人、『庭に花やある』と問ふ。」では、会話の中の「や」と「ある」が対応します。会話の外の「問ふ」まで結びを探し続けないようにします。

確認する三つのこと

- 1 係助詞はどれか。
- 2 その係助詞に対応する結びはどこか。
- 3 資料表で、結びが連体形か已然形かを確かめる。
語尾の文字だけでなく、文の意味も確かめましょう。

本文と参考資料

本文・例文はすべて教材用作例です。実在の古典からの引用ではありません。学習範囲と基本対応は、文部科学省・ベネッセの資料を参照しました。巻末に資料欄があります。

参考資料と教材の扱い

本文と設問の作成方針

教材用作例について

本文・例文は、この教材のために作成した「教材用作例」です。実在する古典作品からの引用ではありません。設問・現代語訳・解説も本教材独自のものです。

中3の既習事項の復習・入試基礎として構成しています。個々の語や係り結びが、学習指導要領で中3必修に指定されているという意味ではありません。

文部科学省 中学校学習指導要領解説 国語編 平成29年告示

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_002.pdf

ベネッセ 中学3年の国語学習内容

<https://benesse.jp/kyouiku/teikitest/chu/japanese/3grade/>

ベネッセ 係り結びとは

<https://benesse.jp/kyouiku/teikitest/chu/japanese/japanese/c00067.html>

ベネッセ 古文の理解の仕方

<https://benesse.jp/kyouiku/teikitest/chu/japanese/japanese/c00464.html>

確認日 2026年10月7日。参考資料の説明・例文・設問を、そのまま転載したものではありません。